

町立厚岸病院から ～これからも医師体制を維持し 地域医療と福祉を支えます～

■令和3年度患者数・決算状況

(単位：人)

入院患者	11,503
内科	8,851
外科	2,649
小児科	3
外来患者	37,004
内科	23,665
外科	4,347
小児科	4,819
整形外科	3,478
脳神経外科	695

(単位：千円)

内 訳	金 額
病院事業収益	1,284,879
医業収益	775,901
入院収益	258,518
外来収益	266,509
その他医業収益	98,321
負担金	152,553
医業外収益	508,978
患者外給食・その他医業外収益	105,938
他会計補助金・負担金	403,040
道補助金	0
特別利益	0
病院事業費用	1,294,317
医業費用	1,220,924
給与費	786,101
材料費・経費	354,017
減価償却費・資産減耗費	79,456
研究研修費	1,350
医業外費用	73,393
支払利息及び企業債取扱諸費	22,594
医療技術員確保対策費	33,431
雑損費及び長期前払消費税勘定償却	17,368
特別損失	0
当年度純利益	△9,438

※表示単位で四捨五入しているため合計額等は一致しません

●問い合わせ／町立厚岸病院 ☎ 52-3145

町立厚岸病院は、町民の命と健康を守り、誰もが安心して生活できる地域社会を支える中核的な医療機関として、内科、外科、小児科の基本診療に加え、整形外科および脳神経外科の定期診療と、24時間の救急医療体制、透視医療や入院機能を有し、急性期から慢性期の患者さんの診療、そして地域での生活を支える医療機関として、地域医療を提供しています。

また、乳幼児健診から一般健診までの各種健診による早期疾病の発見や、健康づくり事業と連携した各種予防接種の推進、健やかな生活を送るための健康講話、医療講演会など、健康維持・予防への取り組みにも力を注ぎ、『人生100年時代』と言わ

れるようになった今日、若者から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の構築に向け、福祉との連携を進め、在宅での生活全般を支援していきます。

医師体制について

令和3年度における診療の基本となる医師体制は、常勤医師3人と定期非常勤医師1人での体制となりましたが、24時間の救急医療体制や地域医療の継続には、安定した医師体制の整備が重要となります。

また、専門外来診療としては、消化器検査診療のほか、釧路赤十字病院から整形外科診療、釧路労災病院から脳神経外科診療を継続できたところです。

不採算な医療の体制維持

町立厚岸病院は、公営企業という観点から、経営にあつては独立採算を求められる企業です。

しかし、町立厚岸病院は自治体病院でもあり、地域で必要とされる医療の中でも民間の医療機関が提供困難な分野である、へき地医療や24時間救急医療、高度医療などを確保し、提供する使命と役割を担っています。

こうした医療は『不採算医療』と呼ばれ、この体制を維持するために国からの交付金のほか、町からの財政支援により、病院経営が成り立っています。

患者数の状況

令和3年度の患者数の動向については、入院患者数で1万1503人となり、前年度対比509人（4.6%）の増加となりました。

また、外来患者数では、3万7004人となり、前年度対比1702人（4.8%）の増加となりました。

収支状況の概要

令和3年度は、前年度と比較し入院患者数、外来患者数が共に増加したものの、外来収益が大きく減収となり、支出では、燃料価格高騰により、燃料費、電気料などの事業継続経費の増加が経営悪化の要因になっ